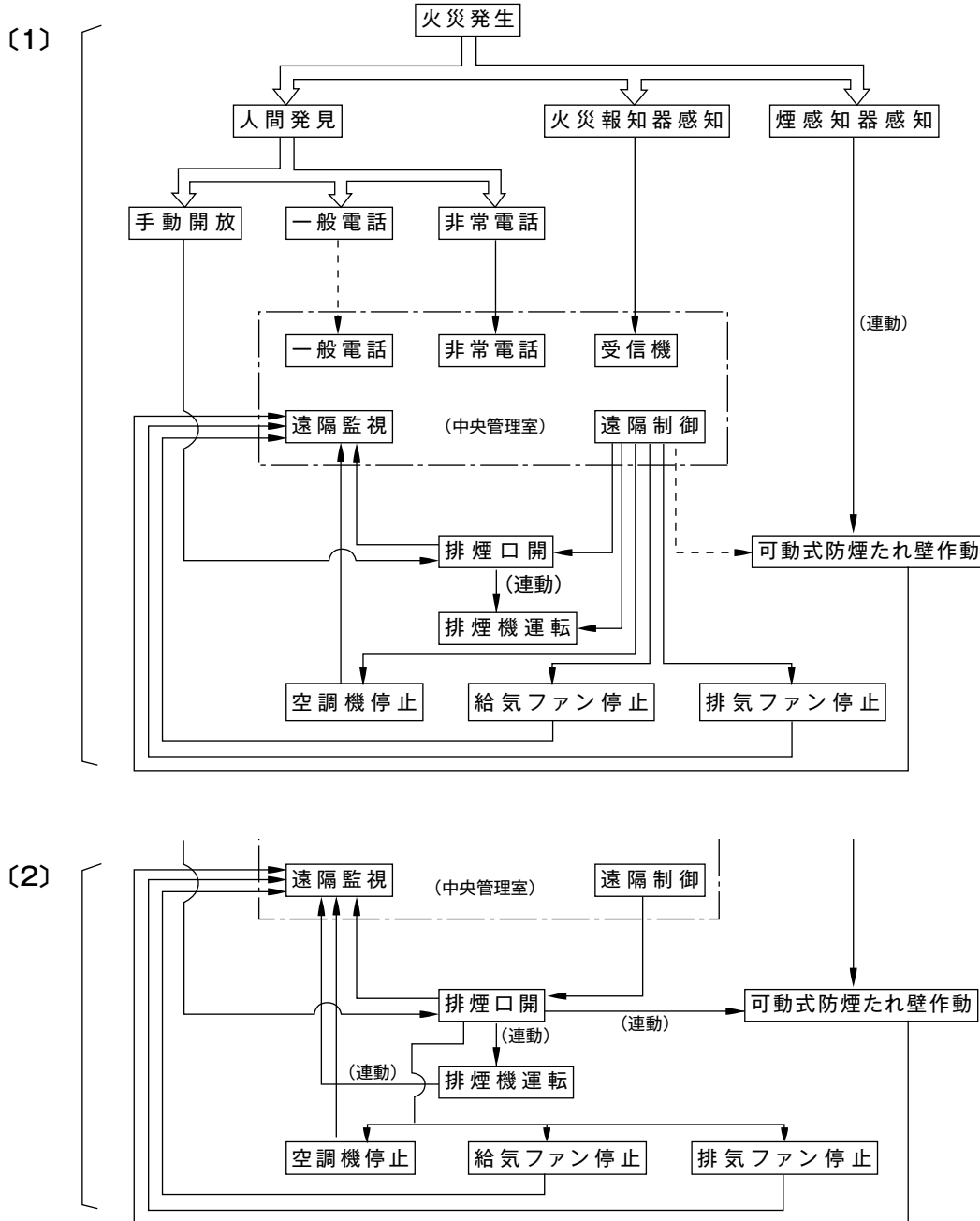




●中央管理室のある場合の居室



〔1〕は基本的な排煙動作タイムスケジュールで、排煙口、排煙機を中央管理室において監視及び遠隔制御をすると共に、関連設備をそれぞれ個々に監視及び必要な場合に遠隔制御を行うシステムです。もちろん排煙口と排煙機は連動しています。中央管理室での情報手段として一般電話、非常電話、受信機を挙げていますがこれは一例であって、さらに有効な手段がある場合はこれにこだわりません。

可動式防煙たれ壁がある場合は、煙感知器によって自動制御するとともに排煙口と連動するか、遠隔制御及び遠隔監視のいずれかを行います。〔2〕は連動制御を主体にした場合であり中央管理室で排煙口を遠隔制御により開放すると、それに連動して排煙機はもちろん、可動式防煙垂れ壁や関連設備が作動するシステムです。

遠隔監視も全部の機器をまとめて一括して行っていますが、遠隔監視の方法は、排煙口と排煙機を一つ、関連設備を一つにまとめたり、各機器単位に行うなどいくつかあるがいずれでもかまいません。遠隔制御に関しては、排煙口と関連設備の二つに分ける方法もあります。